

# 道徳学習指導略案

1年3組 30名 指導者 京田 憲子

- 問い直す活動において、心情を色で表すワークシートを作成したり発問を工夫したりすることにより、道徳的価値に対する感じ方や考え方を明確にすることができたか。
- あたためる活動において、友達と仲良く遊んだり、助け合って活動したりしている自分たちの姿を視聴させることにより、道徳的実践意欲へとつなげることができたか。

## 1 主題名 友達っていいな（資料名「ころはっば」〈読み物－東京書籍〉）

### 2 ねらい

友達と進んでかかわり、仲良くしようとする心情を育てる。（2－③ 友情・信頼，助け合い）

### 3 展開に当たって

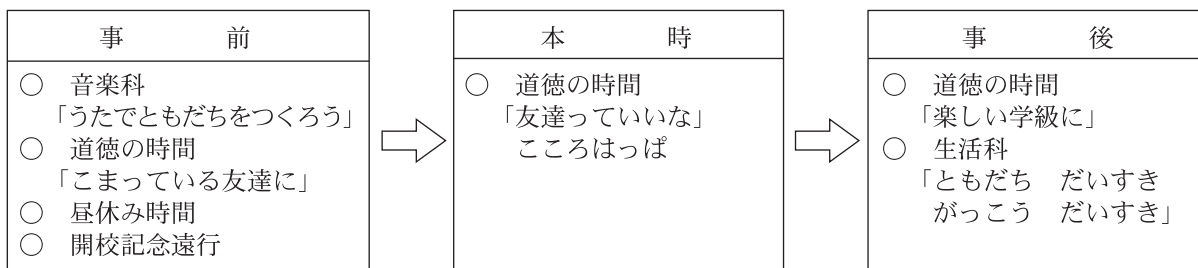
見つめる活動では、友達と仲良くしたいと思っはいながらも、仲良く助け合うことができなかった体験やその時の気持ちについて話し合わせ、意識と行動の矛盾に気付かせる。その際、活用ボードを掲示し、体験を想起することができるようにする。その後、「友達と仲良くするにはどのような気持ちが必要だろうか。」という共通の問題意識を練り上げることができるようにする。

問い直す活動では、まず、お面を用い、「ころはっば」になりきり共感できるようにすることで、友情についての意義を広く捉えることができるようにする。次に発達段階を考慮し、視覚と聴覚に訴えることのできる紙芝居を進めていく。更に中心発問では、「ころはっば」の心情を色で表す活動を取り入れ、自分の道徳的価値に対する感じ方や考え方を明確にするとともに、教師の発問で多様な価値観を引き出すことができるようにする。

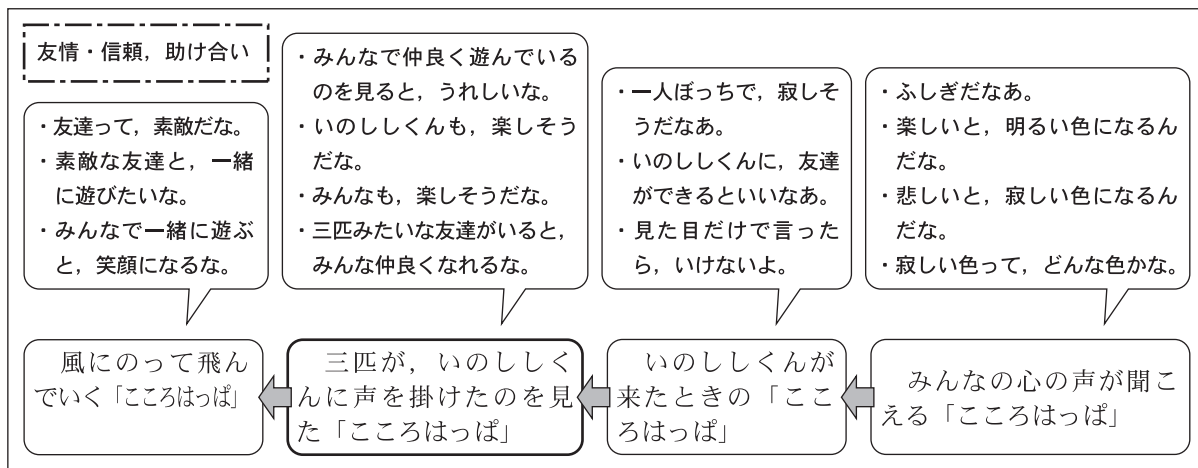
振り返る活動では、実態調査を基に今まで友達と仲良くできた体験や仲良くできなかった体験を想起させ、意図的指名によりその時の気持ちについても見つめられるようにする。



あたためる活動では、子どもたちが友達と仲良く遊んだり、助け合って活動したりしている姿をVTRで視聴させる。生き生きとしている表情や姿など、客観的に自分や自分たちの学級の姿を見つめさせることによって、友達がいることのよさや助け合うことの素晴らしさに気付かせ、もっと友達と進んでかかわり仲良くしたり、助け合ったりしていこうとする実践意欲を高めることができるようにする。

### 4 他教育活動との関連



### 5 資料分析



時	主な学習活動と教師の手立て・評価	
(分) ↑ 7 ↓	<p>【見つめる活動】</p> <p>1 友達と仲良くしたいと思っはいなながらも、仲良く助け合うことができなかつた体験とその時の気持ちを話し合わせる。</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・友達と仲良くすると、楽しいな。</li> <li>・友達に嫌なことを言ってしまったな。</li> <li>・友達を泣かせてしまったな。</li> </ul> <p>ともだちとなかよくするには、どのようなきもちがたいせつだろうか。</p>	<p>④ 活用ボード</p> <p>活用ボードに事前の活動の写真を掲示することにより、体験を想起しやすくさせる。</p>  <p>めあてを全員で一読させることにより、問題意識を高めていく。</p>
↑ 25 ↓	<p>【問い直す活動】</p> <p>2 資料「こころはっぱ」の紙芝居を聞き、「こころはっぱ」の気持ちを中心に話し合う。</p> <p>(1) いのししくんが来たとき、「こころはっぱ」は、どのような気持ちだっただろうか。</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・一人は、寂しそうだなあ。</li> <li>・いのししくんに、友達ができるといいなあ。</li> <li>・見た目だけで言ったら、いけないよ。</li> </ul> <p>(2) 三びきがいのししくんに声を掛けたとき、「こころはっぱ」は、どのような気持ちだっただろうか。</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>ア みんなで仲良く遊んでいるのを見ると、うれしいな。</li> <li>イ いのししくんも、楽しそうだな。</li> <li>イ みんなも、楽しそうだな。</li> <li>ウ 三匹みたいな友達がいると、みんな仲良くなれるな。</li> </ul>	<p>④ 紙芝居、ワードカード、場面絵</p> <p>「もし自分が一人だったら」と補助発問することで、一人ぼっちの寂しさや友達がほしいという気持ちに共感させる。</p>  <p>「こころはっぱ」の木の心情を塗らせ発問を工夫していくことで、道徳的価値に対する感じ方や考え方を明確にさせていく。</p> <p>※ 中心発問に対する考え方を机間指導において次の視点で評価する。</p> <div style="border: 1px dashed black; padding: 5px;"> <p>ア 自分の気持ちを中心とした考え方</p> <p>イ 他人への思いを中心とした考え方</p> <p>ウ 集団・社会への思いを中心とした考え方</p> </div> <p>一人ぼっちの友達に声を掛けることで、声を掛けられた人や声を掛けた人だけではなく、それを見た人にも快い感情を与えることに気付かせる。</p> <p>発達段階を考慮し、保護者の協力を得て家庭でも実態調査を行い、子どもの実態を把握しておく。</p>
↑ 8 ↓	<p>【振り返る活動】</p> <p>3 友達と仲良くできた体験や仲良くできなかった体験を振り返る。</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・一人ぼっちでいる友達に、声を掛けることができたな。</li> </ul>	<p>発達段階を考慮し、保護者の協力を得て家庭でも実態調査を行い、子どもの実態を把握しておく。</p>
↑ 5 ↓	<p>【あたためる活動】</p> <p>4 友達と仲良く遊んだり、助け合っ活動したりしている自分たちの姿を、VTRで視聴する。</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・みんなで仲良くしていると、笑顔になれるんだな。</li> <li>・友達って、素敵だな。</li> </ul>	<p>BGMにのせて、友達と仲良く助け合っている自分たちの姿を客観的に視聴させることにより、その表情や姿から、友達と仲良く助け合っことの素晴らしさに気付かせ、実践意欲へと結び付ける。</p> 